

旭川市行財政改革推進プログラムの 見直しに向けて

～行財政改革推進プログラム 2016 の検証～

委員会での審議内容

◎現在の財政状況について

◎現在のプログラムの検証（今回）

- ・ 進行状況について
- ・ 現状と課題について

◎改訂に当たって（次回）

- ・ 全体構成について
- ・ 社会状況の変化を踏まえた見直しの方向性について
少子高齢化，人口減少を背景とした業務への影響
society5.0，スマート自治体，働き方改革，公共施設の在り方

少子高齢化・人口減少の進行

3

年	人口総数	0～ 14歳	15～ 64歳	65歳 ～	備考
1986 (S61)	36.5 万人	7.6 万人	25.5 万人	3.4 万人	人口の ピーク
2016 (H28)	34.3 万人	3.9 万人	19.7 万人	10.7 万人	8次計画 スタート
2019 (R1)	33.5 万人	3.6 万人	18.7 万人	11.2 万人	最新の データ
2027 (R9)	31.2 万人	3.0 万人	16.8 万人	11.4 万人	8次計画 終了年
2029 (R11)	30.5 万人	2.8 万人	16.4 万人	11.3 万人	10年後
2039 (R21)	26.8 万人	2.3 万人	13.3 万人	11.2 万人	20年後
2049 (R31)	23.0 万人	2.0 万人	10.6 万人	10.5 万人	30年後

30年後の令和31年度には、
旭川市の人口 23万人
65歳以上の割合 45.7%

令和元年度と比較すると
人口は 10万5千人の減
65歳以上の割合は 12.3ポイントの増

出典：旭川市人口ビジョン

第8次総合計画（最上位計画）期間：2016～2027

都市像 『世界にきらめく いきいき旭川 ～笑顔と自然あふれる 北の拠点～』

基本構想

将来ビジョン（目指すまちの姿）

12年

基本計画

基本政策プラン

4年

4年

4年

推進計画

各事業や取組

4年

4年

4年

◎各種計画

●まち・ひと・しごと
創生総合戦略

●公共施設等総合管理
計画

●立地適正化計画

など

関連

第8次総合計画の施策の着実な推進及び財政面での補完

行財政
改革推進
プログラム

4年間

2016

4年間

次期プログラム

4年間

財源

組織
体制

アウト
ソーシング

など

4年ごと
に見直し

改訂スケジュール（全体）

		5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月			4月		
		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬			
現 計 画 進 捗	進行状況調査(各部照会)	→	→	→	→	★																															
	進行状況(確定、公表)									→	★																										
	行財政改革推進委員会 (附属機関)															★	★																				
	行財政構造改革推進本部会議										★																										
	議会報告 (総務常任委員会&各議員)											★																									
改 訂 作 業	取組項目調査 (各部照会・協議)	→	→	→	→	→	★	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	★															
	改訂案作成 (収支見通しはR2をベース)							→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→				
	行財政改革推進委員会 (附属機関)																					★												★			
	行財政構造改革推進本部会議																						★											★			
	パブリックコメント 市民説明会(5か所程度)																													→	→	→	→	★			
	議会報告 (総務常任委員会)											★											★						★						★		
基 本 計 画	改定案の作成	→	→	→	→	→	→	→	→	★																											
	附属機関への諮問・答申 地域説明会 パブコメ										→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→				
	決定																						★														

・諮問
・現計画の検証

・骨子案について

・答申
・財政収支見通しを加えた本編

(報告)

全体的な進捗（別紙1）

■財源確保目標額の達成

■各種財政健全化指標の順調な推移

（市債借入額と残高の抑制，繰出金の抑制，基金残高の維持）

■取組項目のおおむね順調な進捗

・実施済み13.4%，予定どおり76.4%，予定より遅れ10.2%

アウトソーシングの推進

◎主な取組内容

- 指定管理者制度の導入拡大（別紙２）
 - ・２施設で新規導入
- 業務委託の拡大
 - ・市営住宅の修繕受付，障害支援区分認定調査の一部等を委託

ICT利活用による業務改善

◎主な取組内容

- 施設予約システムの導入拡大
- 電子申請の対象手続の拡大
- 人事給与・庶務事務システムの導入（R2.3～）

施設等の見直し

◎主な取組内容

- へき地・季節保育所の設置の見直し
- 緑が丘地域複合コミュニティ施設、合葬式施設の開設
- 公共施設等総合管理計画に基づくアクションプログラム等の策定と推進

行政サービスの質の向上（窓口業務等の改善）

◎主な取組内容

- 頻度の高い問合せ内容のデータベース化と更新
- SNSを活用した情報発信の強化（LINEなど）
- 本庁舎の総合案内を1か所に集約
- 市税等で、コンビニ納付や、モバイル決済サービスを導入
- 住民票などのコンビニ交付の開始

第三セクター等関係団体との関与の見直し（別紙3）

◎主な取組内容

- 繰越金の適正化と補助金の見直し
- 市退職者派遣の見直し
- 指定管理者の公募の拡大

市税等の収納率の向上（別紙4）

◎主な取組内容

- 収納率の向上（市税，国保料，保育料，住宅使用料，介護保険料，上下水道料金，医療費の全てで向上）
- 徴収が困難な債権の回収業務の委託化（市営住宅）
- 債権管理マニュアルの策定

受益者負担の適正化

◎主な取組内容

- 使用料・手数料の見直し（14年ぶり）

その他収入の確保

◎主な取組内容

- ふるさと納税の推進

- ・（H30度決算）H28年度比で件数4.8倍，金額3.3倍

- 公用車，予防接種のしおり等への広告掲載

- ネーミングライツの導入（大雪アリーナ，総合体育館）

- 公有財産の売却（主に駅周辺の北彩都地区）

職員体制、評価制度、給与等の見直し（別紙5）

◎主な取組内容

■職員数の削減

- ・R元年度当初の一般会計職員数：H28年度比で39人減
- ・R元年度当初の臨時嘱託職員数：H28年度比で80人減

■昇給抑制の継続

■人事評価システムの導入

公営企業の経営の健全化

◎主な取組内容

■病院事業の経営の健全化

●赤字額の圧縮（H26年度▲11.6億円 → H30年度▲1.1億円）

- ・夜間急病センターの運営開始
- ・医師や看護師の給与カット
- ・企業債の借り換え など

■上下水道事業の経営の健全化

- ・次期財政計画（R2～R5）の策定

協働の推進

◎主な取組内容

- ・パークゴルフ場の協働管理
- ・町内会への除雪車両の貸し出し
- ・市民の企画提案による協働のまちづくり事業
(協働事業提案制度)